

各位

JUKI株式会社

(証券コード：6440 東証プライム市場)

ISS社の議決権行使助言に関する当社の見解について

当社が2026年3月30日開催予定の第111回定時株主総会に上程する「第2号議案 取締役6名選任の件」について、議決権行使助言会社であるInternational Shareholder Services Inc.(以下、ISS社)が、「候補者番号1 成川 敦の選任」及び「候補者番号4 二瓶ひろ子」の選任に反対推奨する旨のレポートを同年3月11日に発行したことを確認いたしました。

ISS社の反対推奨に対する当社の見解を下記のとおり説明させていただきますので、株主の皆様におかれましては当該議案へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. 第2号議案 取締役6名選任の件 候補者番号1 成川 敦について

## (1) ISS社の反対推奨内容

ISS社は、取締役選任議案について、『資本生産性の面で業績不振にある企業（過去5会計年度における平均自己資本利益率（ROE）が5%未満の企業）については、改善（直近の会計年度におけるROEが5%以上であること）が見られない限り、原則として最高経営責任者の選任に反対する。』旨、議決権行使基準を定めています。

当社の過去5年のROE平均は、下表のとおり-4.0%、直前会計年度（2025年12月期）ROEが、4.4%であることから、ISS社は、上記基準に基づき当社代表取締役社長である代表取締役社長 成川 敦の取締役選任に対し反対を推奨しています。

## &lt;当社ROE推移&gt;

	過去5年 平均	2025年 12月期 (当期)	2024年 12月期	2023年 12月期	2022年 12月期	2021年 12月期
ROE(%)	-4.0	4.4	-10.3	-20.6	-0.2	6.5

## (2) 当社の見解

成川 敦は、2024年7月に当社代表取締役社長に就任以来、様々な改革を断行し業績回復に努めてまいりました。この結果、2025年度の業績は利益項目すべてにおいて黒字を達成しています。2026年度は、更に業績の立て直しを推進し、今期の業績予想は、売上高900億円、営業利益45億円、経常利益20億円、当期純利益15億円を見込み、一株あたり15円の配当を予定しております。

成川 敦が引き続き当社経営を担うことが、当社5か年中期経営計画（Building Sustainable JUKI）を推進していく上で不可欠と考えております。

株主の皆様におかれましては、当社の取組へのご理解とご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

(ご参考情報)

2025年12月期 決算説明資料：<https://www.juki.co.jp/ir/library/financial-results/>5か年中期経営計画：<https://www.juki.co.jp/ir/library/management/>

2024年(7月:新経営体制スタート)

2025年

### 売上平準化

⇒売上偏重の是正

- ・生産・販売・在庫バランスを正常化
- ・生産効率の改善

### 利益重視へ戦略転換

⇒ハイエンド市場にフォーカス

### 生産能力適正化

⇒低採算機種を中心とした機種削減



## 2026年度通期 業績予想

(単位:億円)	2025年度実績	2026年度業績予想	前年比増減額	前年比増減率	(参考)中期計画値	
					2027年度	2029年度
売上高	888	900	+12	1%	1,000	1,250
営業利益	27	45	+18	69%	95	160
経常利益	14	20	+6	42%	80	150
当期純利益	14	15	+1	7%	55	100
配当	10円/株	15円/株	+5円/株	-	-	-
米ドル 期中平均レート	150円	145円	△5円	-	-	-

## 2. 第2号議案 取締役6名選任の件 候補者番号4 二瓶ひろ子について

### (1) ISS社の反対推奨内容

ISS社は、『社外取締役候補者が、社外監査役として監査役会に在籍していた場合、取締役会の会議に加え、監査役会の出席率が75%以上であること』との議決権行使基準を定めています。そして、候補者番号4 二瓶ひろ子について、2025年1月から同年3月25日定時株主総会終結時までの同氏の社外監査役としての監査役会出席回数が記載されていないため、社外監査役としての監査役会出席率を計算できないことを理由に、二瓶ひろ子の取締役選任議案について反対推奨をしています。

### (2) 当社の見解

二瓶ひろ子は、2025年3月25日開催の第110回定時株主総会終結時をもって当社社外監査役を退任すると共に当社社外取締役に就任いたしました。同氏の監査役会出席回数(出席率)と取締役会への出席回数(出席率)は、以下のとおりいずれも100%であり、ISS社の議決権行使基準を充たしております。

※二瓶ひろ子の取締役会及び監査役会出席回数（出席率）

	監査役会（出席率）	取締役会（出席率）
社外監査役として出席 （2025年1月～3月）	全4回中4回（100%）	全2回中2回（100%）
社外取締役として出席 （2025年3月～12月）	—	全11回中11回（100%）

以上